

## 第6章

# ワクチン接種

新型コロナウイルスによる死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、感染症のまん延防止を図ることを目的として、予防接種法に基づく臨時接種の特例として、厚生労働大臣の指示の下、都道府県の協力により市町村において、新型コロナウイルスワクチン接種が実施された。

本市では、令和3年1月に市長を本部長とする、「北九州市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部」を設置し、市としての具体的な接種体制等を決定してきた。また、行政の取組に加え、接種の基幹業務を担う市医師会、地域医療支援病院、薬剤師会、歯科医師会や、周辺業務を担う民間事業者等の協力により、全市を挙げた接種体制を構築した。

ワクチン接種にあたっては、国・県・市における主な役割分担が示され、接種に係る費用は全額国費負担で行われた。ワクチン接種開始当初は、接種予約・問合せ窓口として設けたコールセンターと区役所相談窓口に、非常に多くの市民が集中し混乱が生じたが、その後は十分な予約枠の確保や電話回線の増設、市民センターへの予約窓口設置等により体制を拡充し、予約・接種は円滑に進捗した。

### 国・県・市における主な役割分担

国	ワクチンの確保、接種順位の決定、ワクチンに係る科学的知見の提供、健康被害救済に係る認定、副反応疑い報告制度の運営など
県	広域での実施体制確保に係る調整、医療従事者接種の体制確保、専門的相談体制の確保など
市	住民接種の体制確保、接種券・予診票・案内等の印刷・発送、健康被害救済の申請受付、相談体制の確保など

**【本市における新型コロナワクチン接種の主な経緯】**

時期	取組内容
令和3年1月21日	北九州市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部 設置
令和3年2月10日	第1回ワクチン接種推進本部会議 開催
令和3年2月23日	集団接種シミュレーション実施
令和3年4月12日	1・2回目接種 住民接種開始(民生委員等への先行接種)
令和3年4月19日	1・2回目接種 高齢者施設での接種開始
令和3年5月12日	1・2回目接種 本格化(市内全域での集団接種開始)
令和3年5月31日	第2回ワクチン接種推進本部会議 開催
令和3年7月1日	1・2回目接種 個別接種開始(市内約300医療機関)
令和3年7月9日	1・2回目接種 保育士・教職員等への優先接種開始
令和3年7月31日	1・2回目接種 接種を希望する高齢者:概ね接種完了
令和3年11月中旬	1・2回目接種 接種を希望する市民:概ね接種完了
令和3年12月1日	3回目接種 医療従事者接種開始
令和3年12月22日	第3回ワクチン接種推進本部会議 開催
令和4年1月8日	3回目接種 住民接種開始(主に先行接種者/集団接種)
令和4年1月11日	3回目接種 高齢者施設での接種開始
令和4年1月24日	全市民センター(約130か所)に予約専用窓口開設(~3月末)
令和4年2月5日	3回目接種 本格化(市内全域での集団接種開始)
令和4年2月7日	3回目接種 個別接種開始(市内約300医療機関)
令和4年3月5日	小児(5~11歳)1・2回目接種開始
令和4年5月28日	4回目接種 住民接種開始(主に医療従事者/集団接種)
令和4年6月13日	4回目接種 高齢者施設での接種開始
令和4年7月12日	全市民センター(約130か所)に予約専用窓口開設(~9月9日)
令和4年7月16日	4回目接種 本格化(市内全域での集団接種開始)
令和4年7月19日	4回目接種 個別接種開始(市内約300医療機関)
令和4年9月24日	小児(5~11歳)3回目接種開始
令和4年9月28日	オミクロン株対応ワクチン接種開始
令和4年11月14日	乳幼児(生後6か月~4歳)1~3回目接種開始
令和5年4月1日	小児(5~11歳)オミクロン株対応ワクチン接種開始
令和5年5月8日	令和5年春開始接種実施 (対象:高齢者、基礎疾患がある方、医療従事者等)

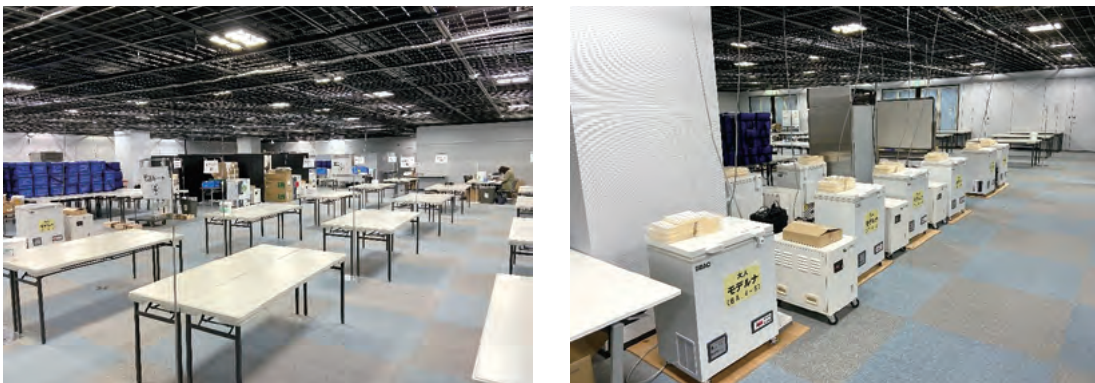
# 1 供給・管理

## (1) ワクチンの供給・管理

- 新型コロナワクチン接種実施に伴い、国からのワクチン・シリンジ等の受入体制及び管理体制・配送の構築が必要となったため、効率化を図ることを目的に、管理と配送については外部委託を行い、「北九州ワクチン配送センター」を立ち上げ、当センターにてワクチン・シリンジ等の一元管理を行った。
- ワクチン配送については、令和3年4月から各集団接種会場への配送を開始し、その後高齢者施設及び医療機関への配送についても行った。

配送場所	配送頻度
集団接種会場	週1～2回(午前・午後)
医療機関等	随時(約350箇所)
高齢者・障害者施設	随時(約530箇所)

- ワクチン管理については、ワクチン配送センターの機械警備及びディープフリーザーの温度管理・通報体制を構築し、常時、設備・機器等を監視し不具合が生じた場合、迅速に対応できるようにした。
- ワクチン供給については、国から各クールごとにワクチン供給数に関する照会があるため、具体的な数値が示されていない場合は接種対象者から必要ワクチン数を試算し、国に対して要求を行ってきた。



ワクチン配送センター

### (対応を振り返って)

ワクチンは、温度管理や品質保持等の適正管理、及び配送時の仕分け、在庫管理事務が煩雑であるが、管理業務を委託したことにより、適正かつ迅速に対応することができた。

## 2 予約・接種管理

### (1) 予約・接種状況の管理

- 本市では、令和3年4月に「集団接種」を開始し、同月、「高齢者施設等における接種(巡回接種)」についても開始した。7月からは「市内医療機関(約360機関)での個別接種」や「保育士、教職員等を対象とした大規模接種」等を開始するとともに、企業・大学等が実施する「職域接種」の支援も行うなど、様々な取組を進めた。こうした取組の中で、ワクチン接種の進捗を的確に把握するため、予約・接種状況の管理を行った。
- 予約回数等の把握については、予約管理システムから予約データを抽出し、年齢層別や類型(集団・個別・大規模)別、接種回数別に集計した。状況を内部で共有するほか、毎週の定例会見、市ホームページ等で公表した。
- 接種回数等の把握については、次のとおり集計し、毎週の定例会見、市ホームページ等で公表した。
  - ・市内における接種回数を接種者の住所地を問わず類型別に把握・集計
  - ・(接種地を問わない)北九州市民の接種記録についてはワクチン接種記録システム(VRS)にて集計

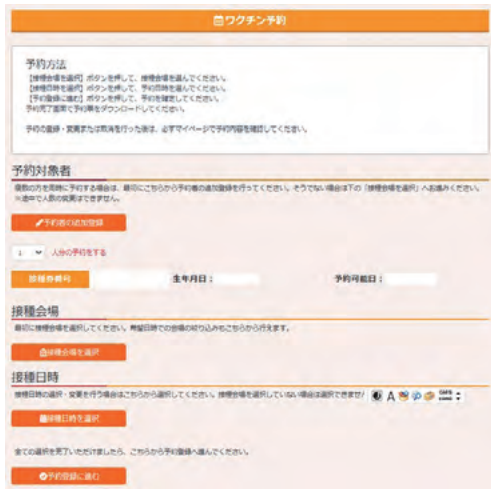
#### (対応を振り返って)

- ワクチンの接種回数等について、類型別に集計を行い、1日単位で厳格な回数管理を行ったことにより、正確な進捗管理が行うことができた。
- 接種状況を公表することで、市民に対する積極的な情報発信という点からも、接種に対する市民理解に繋がられるよう努めた。

### (2) 予約管理システム/接種閲覧システム

#### ア 予約管理システム

- 新型コロナワクチンの市内の接種対象者は約92万人に上り、また、集団接種会場、個別接種医療機関と接種会場も多く、大量のワクチン接種の予約を迅速かつ円滑に処理する必要があったため、令和3年4月から、予約管理システムを構築して予約受付を行った。
- 予約管理システムを構築したことで、市民が都合の良い時間に直接インターネットで予約できたほか、区役所窓口やコールセンターにおいてもシステムを使用して予約受付を行うことができた。
- 初回接種では、約120万回の予約、以後の接種においても大量の予約を受け付けたが、これまでに、システムダウン等の大きなトラブルは起きていない。
- 随時、必要なシステム改修を行い、接種回数の増加やワクチン種別の変更等に対応した。また、「画面が分かりにくい」等の意見を受け、画面表示の変更等も行った。



予約管理システム



「インターネットでの予約方法」をお知らせするチラシ

## イ 接種閲覧システム

- 令和3年4月に開設した「予約管理システム」とセットで、「接種閲覧システム」を開設し、ワクチン接種の実績を管理した。接種記録を管理するシステムとしては、国が準備した「ワクチン接種記録システム(VRS)」もあるが、大量のワクチン接種の実績を管理し、正しい接種回数の接種券発行に繋げるため、市独自の接種閲覧システムで接種実績を管理した。



接種閲覧システム

### (対応を振り返って)

- 市独自の予約管理システムを使用することで、市民が都合の良い時間に直接インターネットで予約することができ、また、大量のワクチン接種の予約を迅速かつ正確に処理することができた。
- 市独自の接種閲覧システムで大量のワクチン接種の実績を管理することで、正しい接種回数の接種券を発行することができた。

## 3 接種体制

### (1) 集団接種

- 市民への接種については高齢者から順次接種を進めていくことになり、まずは、多くの接種が見込め、また、重篤な副反応が発生した場合に、複数医師での対応が可能な集団接種を実施することとなった。
- 接種体制(接種会場及び人員)の確保が急務となったため、効率化を図ることを目的として外部委託を行い、業務を実施した。
- 国からの通達に従い、市内13会場にて令和3年4月から集団接種(ファイザー)を開始した。ワクチンの供給量及び個別接種等の進捗、追加接種の開始時期や対象人数に合わせて会場数や接種時間を調整した。
- 令和4年3月までは、各会場に会場管理責任者(本庁職員)及び会場運営責任者(区職員)を配置し、委託業者と連携して運営を行った。令和4年4月以降は、受付等基本的な会場運営は委託業者が行い、トラブル等が発生した場合は市職員が対応を行った。また、接種対象者の人数に応じて、接種レーン数や医療従事者、会場スタッフ等の削減調整を適宜行った。

### 【集団接種実施状況】

#### ア ファイザー

時 期	会 場
令和3年4月12日～6月30日	市内13会場(水・木・土・日)
令和3年7月1日～9月30日	市内15会場(水・木・土・日) ※8/12以降は土・日
令和3年10月2日～10月17日	市内15会場(土・日)
令和3年10月23日～11月21日	市内12会場(土・日)
令和3年12月4日～令和4年1月30日	市内2会場(土・日)
令和4年3月6日～4月3日	市内1会場(日)
令和4年4月9日～5月1日	市内3会場(土・日)
令和4年5月7日～7月10日	市内2会場(土・日)
令和4年7月16日～9月24日	市内2会場(金・土)
令和4年9月30日～12月25日	市内2会場(水・木・金・土・日)
令和5年1月6日～8月27日	市内2会場(金・土・日)

#### イ モデルナ

時 期	会 場
令和3年10月13日～令和4年1月27日	市内2会場(水・木)
令和4年2月5日～5月1日	市内13会場(水・木・土・日)
令和4年5月6日～7月15日	市内2会場(水・木・金)
令和4年7月16日～9月25日	市内12会場(水・木・土・日)

ウ 小児ファイザー

時 期	会 場
令和4年3月5日～6月26日	市内2会場(土・日)
令和4年9月24日～12月4日	市内2会場(土・日)

エ オミクロン株対応ファイザー

時 期	会 場
令和4年9月28日～9月29日	市内12会場(水・木)
令和4年10月1日～10月14日	市内8会場(水・木・金・土・日)
令和4年10月15日～12月4日	市内12会場(水・木・金・土・日) ※金曜日のみ2会場
令和4年12月7日～12月25日	市内11会場(水・木・金・土・日)
令和5年1月6日～2月26日	市内7会場(金・土・日)
令和5年3月3日～4月30日	市内3会場(金・土・日)

オ 小児用オミクロン株対応ファイザー

時 期	会 場
令和5年4月1日～4月30日	市内2会場(土・日)

カ オミクロン株対応モデルナ ※令和5年5月現在

時 期	会 場
令和5年5月13日～継続中	市内9会場(金・土・日)

【接種実績(回数)】

令和3年度

(単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月		
約500	約12万	約21万	約15.4万	約10.5万	約12.9万		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
約10.6万	約4.4万	約1.1万	約1万	約9.6万	約12.6万	約111万	

令和4年度

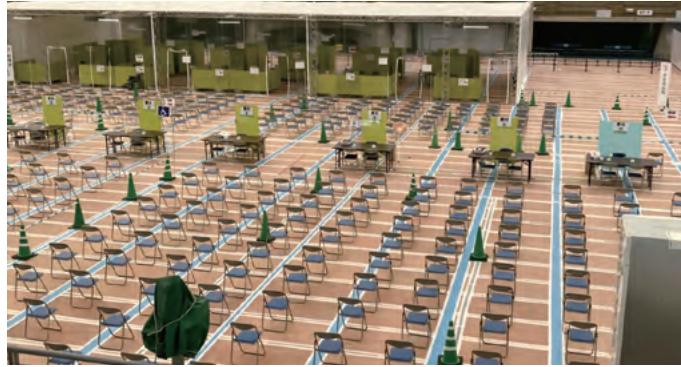
(単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月		
約5.2万	約2万	約1.7万	約5.4万	約6.3万	約2.5万		
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
約3.6万	約9.5万	約6.1万	約1.5万	約1.2万	約0.4万	約45.4万	

令和5年度(令和5年5月時点)

(単位:回)

4月	5月					合計
約0.2万	約0.4万					約0.6万



集団接種会場の設営

**(対応を振り返って)**

- 集団接種会場の運営管理においては、接種実施当初は間違い接種や事務ミスなど様々な事案が発生したが、随時改善を図ることで適切かつ円滑に対応してきた。
- 会場の選定については、交通利便性や駐車場の有無及び、暑い時期や寒い時期には空調設備がある施設を中心に選定を行った。また、ワクチンの供給量及び接種希望者数に応じて、会場の規模等を考慮して必要な接種体制を確保している。

**(2) 個別接種**

**ア 接種体制**

- 本市における新型コロナワクチン接種は、本市が設置した集団接種会場での接種から開始されたが、基礎疾患を持つ方や在宅療養により医師の往診を要する方への接種機会の提供等、市民により多くの接種機会を提供するべく、市医師会と連携し、市内医療機関による個別接種を令和3年7月1日より開始した。
- 個別接種の開始にあたっては、市内医療機関の接種実施の意向や接種見込み回数等を把握するため、事前調査を実施した。その調査結果を踏まえ、医療機関での接種に係る予約受付方法、接種回数の調整、ワクチン配送方法等の個別接種実施の枠組みの検討、市医師会との協議を経て、令和3年6月15日に実施医療機関向けの説明会(オンライン)を開催した。

**【取組内容】**

**(ア) 初回接種(1・2回目接種)**

- ・ 実施期間：令和3年7月1日～令和3年10月31日
- ・ 実施医療機関：389か所
- ・ 使用ワクチン：ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチン

**【接種実績(回数)】**

(単位：回)

令和3年7月	8月	9月	10月	合計
約6.6万	約7.1万	約5.8万	約3.2万	約22.7万



**(イ) 第一期追加接種(3回目接種)**

- ・実施期間：令和4年2月7日～令和4年6月5日
- ・実施医療機関：334か所
- ・使用ワクチン：ファイザー社製ワクチン

**【接種実績(回数)】**

(単位：回)

令和4年2月	3月	4月	5月	6月	合計
約4.9万	約5.6万	約5.1万	約2.3万	約0.5万	約18.4万

**(ウ) 第二期追加接種(4回目接種)**

- ・実施期間：令和4年7月19日～令和4年9月25日
- ・実施医療機関：307か所
- ・使用ワクチン：ファイザー社製ワクチン

**【接種実績(回数)】**

(単位：回)

令和4年7月	8月	9月	合計
約2.2万	約4.5万	約4.2万	約10.9万

**(エ) オミクロン株対応ワクチン接種**

- ・実施期間：令和4年10月17日～令和5年2月12日
- ・実施医療機関：298か所
- ・使用ワクチン：ファイザー社2価ワクチン

**【接種実績(回数)】**

(単位：回)

令和4年 10月	11月	12月	令和5年 1月	2月	合計
約1.3万	約4.0万	約5.7万	約3.3万	約0.9万	約15.2万

**(オ) 令和5年春開始接種**

- ・実施期間：令和5年5月8日～継続中 ※令和5年5月現在
- ・実施医療機関数：298か所
- ・使用ワクチン：ファイザー社製2価ワクチン  
※接種開始当初は、モデルナ社製ワクチン使用

**(カ) 小児(5～11歳)への接種**

- ・実施期間：(初回接種) 令和4年3月22日～継続中 ※令和5年5月現在  
(3回目接種) 令和4年9月20日～継続中 ※令和5年5月現在
- ・実施医療機関：38か所
- ・使用ワクチン：ファイザー社製ワクチン(初回接種：1価、追加接種：2価)

【接種実績（回数）】

（単位：回）

令和4年3月	4月	5月	6月	7月
約1,200	約2,600	約1,400	約700	約600
8月	9月	10月	11月	12月
約800	約700	約500	約500	約800
令和5年1月	2月	3月	4月	合計
約400	約300	約200	約400	約11,000

(キ) 乳幼児（生後6か月～4歳）への接種

- ・ 実施期間：令和4年11月14日～継続中
- ・ 実施医療機関：16か所

【接種実績（回数）】

（単位：回）

令和4年 11月	12月	令和5年 1月	2月	3月	4月	合計
約100	約500	約300	約300	約200	約100	約1,500

イ 運営管理

- 市が主体的に運営を行う集団接種等とは異なり、個別接種は、予約管理やワクチン配送等の市が決定した枠組みの中で医療機関が市民への接種を行うという実施体制になることから、接種を行う医療機関を支援する運営管理体制が必要となった。

【取組内容】

(ア) オペレーションセンター運営

令和3年6月24日より、医療機関からの問い合わせ対応や、各種書類のやり取りを行うオペレーションセンター（外部委託）を開設した。

(イ) ワクチン配送

初回接種開始前後（令和3年6月～7月）は、ワクチンの医療機関ごとの仕分けと医療機関への配送については外部委託していたものの、医療機関ごとのワクチン配送数は市が直接算定していた。

なお、令和3年9月からは、医療機関ごとのワクチン配送数の算定もオペレーションセンター受託事業者に委託した。

**(ウ) ワクチン在庫管理・接種実績管理**

初回接種開始直後(令和3年7月～8月)に国からのワクチン供給量が制限されて以降、各医療機関の予約枠の制限等の調整を行うなど、市全体のワクチンの在庫数が逼迫しないよう在庫管理の必要性が高まったため、第一期追加接種においては、個別接種手続きWebサイトを導入し、個々の医療機関のワクチン配送数から接種実績を差し引いた在庫数を計算し、在庫数の見える化を行った。

**(対応を振り返って)**

- 国から接種対象者の拡大や追加接種の実施方針が次々と示され、その度に対応を求められ、事業実施は困難を極めたが、接種回数を重ねる中で、医療機関との連携に電子申請システムを導入したり、業務のマニュアル化を図ったりするなど、一つ一つの課題を解決していくことで、事業をスムーズに進めていくことができた。
- 初回接種の課題の一つに、提出書類の多さや記入方法の複雑さによって、医療機関とオペレーションセンターとの間のやり取りが増えたことがあったため、提出書類の数の見直しの他、書類の提出方法をメール・FAXからWeb上の回答に変更した。これにより、提出書類に不備がある場合は提出できないといった制御をすることで、医療機関とオペレーションセンターとのやりとりを減らすことが可能となった。

**(3) 巡回接種**

- 新型コロナウイルスに罹患すると、重症化する可能性が高い高齢者と、高齢者と関わる業務をしている高齢者施設等の従事者については、ワクチンの優先接種の対象となっている。
- 高齢者施設等には集団接種会場に行けない方が多く入居しているため、施設での巡回接種を進め、同時に施設従事者への接種を実施した。
- 嘱託医やかかりつけ医等、接種を行う医師がいる施設については、医療機関又は施設にワクチンを配送し、施設で接種を行った。接種を行う医師がいない施設については、外部医師による巡回接種を行った。

**【接種状況】****ア 1・2回目接種**

(高齢者施設)

- ・ 実施期間：令和3年4月～8月 ※希望する全施設で接種完了した

(障害者施設)

- ・ 実施期間：令和3年4月～10月 ※希望する全施設で接種完了した

**イ 3回目接種**

- ・ 実施期間：令和4年1月～3月 ※希望する全施設で接種完了した

**ウ 4回目接種**

- ・ 実施期間： 令和4年6月～10月 ※希望する全施設で接種完了した

**エ オミクロン株対応ワクチン接種**

- ・ 実施期間： 令和4年11月～令和5年3月 ※希望する全施設で接種完了した

**オ 令和5年度春開始接種**

- ・ 実施期間： 令和5年5月8日～8月

**(対応を振り返って)**

- 各施設へ事前アンケートを実施し、接種方法や時期、希望人数の調査を行い、施設に合わせた接種を行えるよう努めた。
- 巡回接種は施設内での新型コロナウイルス感染により、スケジュールが遅れるケースがいくつかあったが、医療機関との調整や接種も順調に進み、接種を希望する全施設で接種を実施できている。

**(4) 優先接種**

**ア 大規模接種**

- 新型コロナワクチン接種において、高齢者接種のめどが立った令和3年7月上旬から、教職員、保育士、介護・障害者施設等の従事者に対して、施設内における、クラスター発生の防止及び社会機能の維持の観点より、優先的にワクチン接種を行った。

**概要**

- ・ 期間： 令和3年7月9日～9月24日
- ・ 接種ワクチンの種別： 武田／モデルナ社製ワクチン
- ・ 接種会場数： 2会場
- ・ 対象職種： 北九州市内にある下記事業所に勤務する全ての職員(市外居住者を含む)

保育関連施設職員	保育所、認定こども園、地域型保育事業所、病児保育施設、認可外保育施設、子ども総合センター、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、放課後等児童クラブ、里親、ファミリーホーム等
教職員	幼・小・中・特支・高等学校(国公立、私立)、高等理容美容学校、戸畑高等専修学校等
介護サービス事業所従事者	居宅介護支援事業所、訪問系介護サービス事業所、通所系介護サービス事業所、短期入所事業所等
障害福祉サービス事業所従事者	訪問系事業所、通所系事業所、相談系事業所等

**接種実績**

- ・ (1回目接種) 22,069名
- ・ (2回目接種) 21,944名

**実施体制**

- ・ 案内・希望取りまとめ：各局関係各課
- ・ 接種会場運営：子ども家庭局、教育委員会
- ・ ワクチン管理：保健福祉局感染症医療政策課

**イ 18歳・消防団・障害のある方・妊婦の接種**

- 以下の対象者について、各々の必要性に鑑み、優先接種を実施した。

(ア) 18歳(大学受験及び就職試験を控える高校3年生)への接種

接種の必要性	感染拡大防止を図るため
接種日時	令和3年8月1日 10:00～13:00、14:00～17:00
接種会場	集団接種会場
対象者	生年月日が平成15年(2003年)4月2日～平成16年(2004年)4月1日生まれの方 ※学生等不問
対象者数	約8,300人
予約方法	コールセンター及び区役所相談窓口
接種実績	約2,000人

(イ) 消防団員への接種

接種の必要性	消防局職員と同様接種を行う必要があるため
接種日時	令和3年7月17日～令和3年8月22日の土日
接種会場	北九州市消防局訓練研修センター
対象者数	約1,000名
接種実績	約1,000人

(ウ) 障害のある方及び妊婦等への接種

接種の必要性	基礎疾患をお持ちの方が多く、新型コロナウイルスに罹患すると重症化する可能性が高いことから、早期接種の機会を確保する必要があるため。また、妊娠中に新型コロナウイルスに罹患すると、特に妊娠後期は重症化しやすいことからワクチン接種が推奨されており、早期接種の機会を確保する必要があるため。
接種日時	令和3年9月11日～令和3年10月31日
接種会場	集団接種会場
予約枠数	約3,000人
予約方法	コールセンター及び区役所相談窓口

**(対応を振り返って)**

優先接種実施時には、ワクチン接種の対象となっていなかった子ども達に接する職種や、重症化する可能性が高い高齢者等に対する職種に対して優先接種を行うことにより、感染拡大を抑える一助になった。また、受検を控える18歳や、妊婦等、その各々の必要性に応じて、早期の接種機会を提供することができた。

**(5) 小児接種/乳幼児接種**

**ア 小児接種**

- 国において、5～11歳の小児向けワクチン接種についての方針が示されたため、令和4年3月から集団接種と個別接種の併用により、小児接種を開始した。
- 国からのワクチン供給量に応じて、年齢順(小学校4年生以上)・段階的に受付を開始した。

**【概要】**

- ・ 対象者：市内在住の5～11歳で約55,000人
- ・ 使用ワクチン：ファイザー社小児用ワクチン
- ・ 接種頻度：
  - (1～2回目接種) 3週間間隔で2回接種
  - (3回目接種) 2回目接種から3ヶ月以上経過
  - (4回目接種) 3回目接種から3ヶ月以上経過
- ・ 接種会場：個別接種実施医療機関、集団接種会場(時期によっては休止)

**【接種状況】** ※令和5年5月時点

初回(1・2回目接種)

区分	接種者	接種率(5歳～11歳)
1回以上接種	10,500人	19.1%
2回接種終了	10,100人	18.4%

3回目接種(従来型・オミクロン株対応型の計)

区分	接種者	接種率(2回終了者に対し)
3回接種終了	4,400人	43.6%

初回(1・2回目接種)

区分	接種者	接種率 (従来ワクチンの3回終了者に対し)
4回接種終了	1,100人	26.2%

## イ 乳幼児接種

- 国において、乳幼児への有効性や安全性等を踏まえ、ワクチン接種の対象とするとの方針が示されたため、令和4年11月から個別接種により、乳幼児接種を開始した。

### 【概要】

- ・ 対象者：市内在住の生後6か月～4歳、約30,000人
- ・ 使用ワクチン：ファイザー社乳幼児接種用ワクチン
- ・ 接種頻度：1回目の接種後、3週間間隔で2回接種し、2回目接種後、少なくとも8週間空けて3回目を接種
- ・ 接種会場：個別接種実施医療機関

### (対応を振り返って)

小児科を中心とした医療機関の協力による接種体制の確保や接種会場、専用コールセンターの体制整備により、接種を希望する対象者への接種が円滑に進んだ。

## (6) 職域接種

- 地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位の接種を行う職域接種を実施した。
- 接種に必要な医療従事者や会場等は、企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないことを条件に、モデルナワクチンを有効活用し、接種を進めた。
- 職域接種は、企業等が福岡県に申請しワクチン供給を受けるもので、本市は情報収集や問合せ対応・広報等の支援を行った。
- 実施した企業や大学等に対しては、福岡県より「新型コロナウイルスワクチン職域接種支援事業費補助金」が支給された。

### (対応を振り返って)

職域接種の実施によって、集団接種、個別接種の予約枠に余裕が生じ、接種を希望する市民への迅速かつ円滑な接種がより促進された。

## 4 相談対応・広報

### (1) コロナワクチンコールセンター及び区役所等における相談窓口

- コロナワクチン接種対象者はほぼ全市民にあたり、不安を抱える多数の市民からの問い合わせが寄せられることが見込まれたため、コロナワクチンの問い合わせ専用窓口として「北九州市コロナワクチンコールセンター」を開設した。また、各区役所には、接種の予約や、疑問、相談に応じる対面相談窓口を設置した。

- 接種回数を重ねるごとに、接種対象者の変更や、接種間隔・ワクチン種別の変更等により、対応内容の変更が多々生じたため、スタッフの指導・教育が重要になった。そのため、新たな対応が発生する都度、適切な情報、マニュアル等を提供し、市民からの相談に対応できるよう努めた。

### 【コロナワクチンコールセンター概要】

- ア 名称：北九州市コロナワクチンコールセンター
- イ 電話番号：0120-489-199
- ウ 受付時間：全日9時～17時
- エ 受付内容：コロナワクチンに関すること全般(相談・予約等)

### (対応を振り返って)

- コールセンター及び区役所相談窓口では、インターネットの使用が難しい方の予約をはじめ、多くの市民の予約受付や相談等の対応を行った。
- 接種開始当初は、コールセンターには非常に大量の問合せが集中し、電話が繋がらない状況が発生したため、接種対象者数に合わせて回線の増設を行い対応した。
- 区役所相談窓口でも、当初は非常に多くの市民が集中し混乱を生じたため、スタッフの増員、予約受付方法の変更、繁忙期における市民センターでの予約専用窓口設置等の対応を行った。

## (2) 市民等への広報・啓発

- ワクチン接種の円滑な実施、接種推進とともに、接種が任意であることや、接種の効果や安全性、副反応のリスク等の理解促進のため、様々な広報媒体を活用し、市民等への広報・啓発を行った。

### 【主な取組】

- ・ 市ホームページ及びSNS(Twitter)の開設(令和3年2月～)
- ・ 市長定例会見における接種の進捗状況や新たな情報の発信(令和3年2月～)
- ・ 若年層を主な対象としたホームページの開設及びSNS(Instagram)の開設(令和3年9月～)
- ・ 市独自の映像を制作し、テレビCMや街中の大型ビジョン、SNS等で放映
- ・ ポスター掲示、市政ラジオやケーブルテレビ、新聞折込広告、デジタルサイネージ等、多様な媒体を活用し、目的・対象に応じてきめ細かな広報を展開した。



(対応を振り返って)

- ワクチン接種は市民からの関心も高く、その対象者も極めて広範となるため、情報が確実に市民の元に届くよう、多様な媒体における発信を継続的に実施した。
- 令和4年9月に開始した「オミクロン株対応ワクチン接種」や、「令和5年度のワクチン接種」については、対象者の考え方等が大きく変わり、市民へのより丁寧な周知が必要となった。このため、従来の広報に加え、当該接種の概要等をまとめた「お知らせチラシ」を制作し、郵便局のタウンメールを活用して全世帯へ送付するなど、よりきめ細かく広報を行った。

(参考) 接種券同封チラシ

